

中国四国地方における主要土木工事一覧

工事区分	工事件名	位置	工費(億円)	事業主体	完成年度(昭)	工事内容	備考	
道	三石バイパス	岡山県三石町	5.6	中国地方建設局	39	L=2.2kmトンネル2カ所 (I=654m) を含む道路工事	1級国道2号線	
	新広島国道	広島県安芸郡海田町～広島市	67.8	〃	41	L=5.8kmのうち3.6kmは Access Control を実施する	〃 事業費は直轄施行分のみ	
	砂丘道路	鳥取県岩美郡岩美町～鳥取市	3.8	〃	49	L=3.8km鳥取砂丘地帯における道路工事	1級国道9号線	
	温泉津道路	島根県隠岐郡温泉津町	11.1	〃	〃	L=8.6km 山腹を匍匐する道路工事トンネル4カ所 (I=598m) 橋梁2カ所 (I=299m)	〃	
	大峠道路	山口県阿武郡阿東町～山口市	12.1	〃	38	L=7.3km 標高差 260m をつなく山腹匍匐道路工事トンネル5カ所 I=1333m 橋梁6カ所 I=254m	〃	
	山口市内道路	山口市	9.0	〃	39	L=3.1km市街部を縦貫する幹線街路工事	〃	
	玉野道路	岡山市～岡山県児島郡灘崎町	11.1	〃	〃	L=13.9km 軟弱地盤地帯を横断する道路工事	1級国道30号線	
	羽立舗装	香川県大川郡志度町～津田町	0.9	四国地方建設局	38	L=7467m W=7.5m 舗装ソイルセメント路盤基層表層	1級国道11号線	
	猪の鼻トンネル	徳島県三好郡池田町	2.8	〃	39	L=992m W=6.5m 改良	1級国道32号線	
	込のトンネル	〃	1.4	〃	38	L=377m W=6.5m 改良	〃	
	猪の鼻改良	香川県三豊郡財田村	3.0	〃	39	L=1354m W=6.5m 切土 54000m ³ 盛土 166000m ³ 改良	〃	
	根曳改良	南国市	2.4	〃	38	L=3003m W=6.5m 切土 168000m ³ 盛土 144000m ³ 改良	〃	
	掘切トンネル	高知県吾川郡吾川村	1.4	〃	38	L=656m W=6.5m 改良	1級国道33号線	
	砥部改良	愛媛県伊予郡砥部町	4.1	〃	39	L=4612m W=6.5m 切土 239000m ³ 盛土 372000m ³	〃	
	道路改良	米子市道笑町～日野郡日野町	0.8	鳥取県	38	L=2010.6m W=6.5～9.0m	2級国道岡山松江線	
	赤名峠改良	島根県飯石郡赤来町～広島県双三郡布野村	3.6	島根県	39	L=2800m W=6.5うちトンネル598.0m L=2510.0m W=7.5～9.0m 橋梁工(立体交差ポステン) L=48.5 W=9.5 C=1800000円	1級国道54号線	
	道路改良	総社市門田～漣井	2.5	岡山県	41	延長 交差部 49.0m 取付部 370m 幅員 11.0m 跨線橋 鋼桁 49.0m 取付部橋梁 PC桁 370m	2級国道岡山松江線	
	路	西ノ浜踏切	笠岡市笠岡駅構内	6.1	〃	41	延長 交差部 49.0m 取付部 370m 幅員 11.0m 跨線橋 鋼桁 49.0m 取付部橋梁 PC桁 370m	主要県道笠岡井原線
可部バイパス		広島県安佐郡可部町	3.0	広島県	38	L=3962.0m W=8.5～1.6m 跨線橋 PC C L=13.0m	1級国道54号線	
道路改良		防府市石田～山口市	9.56	山口県	38	L=12405m W=16～11m 改良舗装 橋梁都市街路	2級国道萩防府線	
四ツ足トンネル		徳島県那賀郡木頭村～高知県香美郡物部村	6.3	徳島県	39	改良 L=1857m W=5.5m	2級国道高知木頭徳島線	
曼陀トンネル		香川県三豊郡大野原町	2.7	香川県	38	新設L=2500m W=6.0m トンネル414m	有料道路	
道路改良		松山市～愛媛県周桑郡小松町	3.2	愛媛県	38	改良 L=4500m 舗装 4200m W=6.5～9.0m	2級国道松山小松線	
四ツ足トンネル		高知県香美郡物部村～徳島県那賀郡木頭村	5.9	高知県	39	改良 L=1857m W=5.5m	2級国道高知木頭徳島線	
大山道路		鳥取県西伯郡伯仙町～大山町	5.5	日本道路公団	38	L=12195m W=5.5m	主要県道米子大山線	
橋		備前大橋	岡山県邑久郡長船町～上道郡上道町	3.1	中国地方建設局	37	L=465m W=9.5m 活荷重合成鋼鉄桁	1級国道2号線
		新京橋	岡山市	7.2	〃	38	L=363m W=23m 連続合成鋼鉄桁	〃
	旭橋	広島市観音木町～庚午北町	6.6	〃	34	L=266m W=15m ローゼ桁	〃	
	倉敷川橋	岡山県児島郡藤田村	2.1	〃	36	L=265m W=8.0m ローゼ桁	〃	
	三滝橋	広島市三滝町	1.2	〃	37	L=272m W=6.0m 連続桁	市道三条三滝線	
	山手橋	〃 山手町	1.3	〃	38	L=277m W=4.0m ディビダグク両端張出式	市道南三条山手線	
	新庄橋	〃 新庄町	2.0	〃	38	L=277m W=6.0m 鋼溶接連続桁	2級国道広島米子線	
	太田川放水路橋	広島市打越町国鉄山陽本線	3.4	〃	35	L=384.5m W=8.8m 中央径間トラス側径間プレートガーダー	国鉄山陽本線	
	太田川放水路橋	〃 三条町 〃 可部線	1.2	〃	33	L=302.7m W=5.0m	国鉄可部線	
	斐伊川橋	出雲市大津町 〃 山陰本線	2.4	〃	38	L=381.1m W=3.8m 単純PC桁	国鉄山陰本線	
	藤川橋	徳島県三好郡山城町	0.6	四国地方建設局	35	L=113.6m W=6.5m ランガー桁部 65m 合成桁部 48m	1級国道32号線	
	込野橋	〃 三好郡池田町	0.6	〃	38	L=75m W=6.5m 鋼上路式アーチ橋アーチ支間 62m	〃	
	鴨部橋	香川県大川郡志度町	0.5	〃	36	L=93m W=7.5m 活荷重合成桁半径 300m 曲線橋	1級国道11号線	
	八幡橋	米子市	0.7	鳥取県	37	L=180.0m W=6.0m 活荷重合成桁	一般県道福頼市山伯香大仙(T)	
	西代橋	平田市～鏡川郡斐川村	1.9	島根県	38	L=478.1m W=6.0m ゲルバー プレートガーダー	一般県道十六島直江(T)線	
	祇園大橋	広島県安佐郡祇園町	1.8	広島県	36	L=265m W=11.5m ゲルバーガーダー	1級国道54号線	
	厚東川新橋	宇都市東割	1.8	山口県	40	L=368.5m W=10.0m PCT桁	2級国道山口山陽線	
	小鳴門橋	鳴門市	3.3	徳島県	36	L=441m W=7.0m 2ヒンジ補剛トラス吊橋	主要県道鳴門公園線	
類詰大橋	徳島県阿波郡阿波町～麻植郡山川町	3.2	〃	41	L=590m W=7.0m 部分合成連続逆梯箱桁	一般県道真重・阿波・山川(停)線		

工事区分	工 事 件 名	位 置	工 費 (億円)	事 業 主 体	完 成 年 度(昭)	工 事 内 容	備 考
	川 部 橋	高松市	0.6	香 川 県	35	L=123.3 m W=6.0 m 3 径間連続合成桁	一般県道岡本香川線
	古 川 橋	西条市	0.6	愛 媛 県	34	L=273 m W=6.0 ポステン式PC桁	主要県道西条壬生川線
	仁 淀 大 橋	土佐市	7.0	高 知 県	40	L=633.4 W=11.5 非合成連続橋	1 級国道 56 号線
	音 戸 大 橋	呉市一安芸郡音戸町	3.6	日本道路公団	36	L=172 m W=6.0 m ランガーガード	主要県道呉倉橋島線
鉄 道	瀬江線建設	高知県高岡郡窪川 ～幡多郡江川崎	52.7	日本国有鉄道		建設線	32年度着工
	中村線 "	" ~ 中村市	42.7	"		"	窪川～佐賀間38年 度開通
	阿佐西線 "	南国市後免～安芸郡田野	14.1	"		"	39年度より着工予定
	阿佐東線 "	徳島県海部郡牟岐 ～高知県野根	19.4	"		"	"
	本郷線 "	広島県山県郡加計～戸河内	11.8	"		"	調査計画中
	岩日線 "	岩国市～玖珂郡錦町	30.5	"	38	"	岩国～河山間 35 年 11月開業
	三江線 "	三次市～島根県邑智郡浜原	36.7	"	38	"	三次～羽羽町 38 年 6月開業
	山陽本線 電化設備	広島県糸崎～下関市	18.1	"	40	尾道新設7カ所変電所その他トンネル拡張 19カ所ホームこう上2駅	34年度着工土木関係 のみ工費
	広島地区改良	広島	35.3	"	42	構内変更	36年10月着工
	太田川放水路 橋梁改良	広島～已斐	21.7	"	39	線路変更橋梁改築駅構内のこう上	32年度着工
広島駅本屋改築	広島	10.0	"	工期約 2カ年	民衆駅の新設	今年度着工予定	
港	宇 野 港	岡山県玉野市	9.9	岡 山 県	43	防波堤 28m 浚渫(-7.5m) 物揚場(-3m)120m 波除堤 200m 岸壁(-10m)185m 物揚場(-4.0m) 物揚場(-3.0m)135m 工業用地 30 800m ²	
	水 島 港	倉敷市・玉野市・児島市	251.3	"	43	岸壁(-7.5m)130m 岸壁(-5.5m)360m 物揚場(-4.0m)980m 鉄道 700m 航路浚渫(-16m) 1 728 000m ³ (-14m)1 814 000m ³ (-12m) 9 624 000m ³ 工業用地 7 051 000m ²	
	福 山 港	福山市	102.7	広 島 県	43	岸壁 (-4.5m)450m 工業用地 4 520 000m ² 航路浚渫(-1.4m) 1 932 000m ³ (-12m)4 290 000m ³	
	広 島 港	広島市	78.1	運輸省 広島県	43	岸壁 (-10.0m) 371m 西防波堤 540m 東防波堤 180m 防波堤 328m 岸壁 (-4.5m) 520m 岸壁 (-5.5m) 760m 工業用地 935 000m ²	
	呉 港	呉市	10.0	運輸省 呉市	43	宝町地区(岸壁(-6.5m)132m 岸壁(-4.5m)120m)広地区 (岸壁(-4.5m)30m)川原石地区(物揚場(-3.0m)120m)	
	境 港	鳥取県境港市 島根県美保関町	40.2	運輸省 境港管理組合	43	岸壁(-7.0m)203m 泊地浚渫(-9.0m)1 440 000m ³ 岸壁 (-7.5m)260m 岸壁(-4.5m)265m 泊地浚渫(-4.5m) 570 000m ³ 岸壁(-7.0m)44m 航路浚渫(-7.5m)247 000m ³ 工業用地 969 000m ²	
	徳山下松港	光市・下松市・徳山市・山口 県都濃郡南陽町	43.0	山 口 県	43	下松地区(物揚場(-4.0m)55m 防波堤 197m) 徳山地区(物 揚場(-3.0m)80m 岸壁(-6m)141m 岸壁(-7.5m)130m 物揚場(-4m)520m 岸壁(-10m)370m 航路浚渫(-10m) 350 000m ³ 富田航路浚渫(-9m)262 000m ³ 南陽地区(物揚場 (-4m)280m 岸壁(-5.5m)180m 光地区(南防波堤 250m 東防波堤 100m) 工業用地 342 000m ²	
	宇 部 港	宇部市	44.0	運輸省 山口県	43	本港(岸壁(-9.0m)165m 航路および泊地浚渫(-9.0m) 3 570 000m ³ 航路浚渫(-7.5m) 1 280 000m ³ 波除堤 421m 物揚場(-3.0m)511m) 東港(航路浚渫(-9.0m)521 000m ³) 工業用地 198 000m ²	
	高 松 港	高松市	33.7	運輸省 香川県	43	港口(西防波堤 238m 中防波堤 273m 東防波堤 25m) 玉藻地 区(岸壁(-7.5m)158m 岸壁(-4.5m)60m) 朝日町(防波 堤 200m) 香西(物揚場(-4.0m)555m 防波堤 30m) 工業用 地 317 000m ²	
	小 松 島 港	徳島市・小松島市	108.1	運輸省 徳島県	43	金磯(岸壁(-9.0m)93m 物揚場(-4.0m)256m 防波堤 500 m 航路浚渫(-9.0m)1 050 000m ³ 物揚場(-4.0m)800m 沖の洲(防波堤 2 350m 岸壁(-7.5m)390m 物揚場(-40m) 300m) 津田(防波堤 1 050m 物揚場(-4.0m)300m) 未広 (岸壁(-5.0m)300m 物揚場(-4.0m)200m) 工業用地 1 120 000m ²	
	西条壬生川港	愛媛県西条市 および壬生川町	90.0	愛 媛 県	44	西条(岸壁(-5.5m)270m 物揚場(-4.0m)205m) 壬生川 (防波堤 1 738m 岸壁(7.5m)260m 航路浚渫(-7.5m)900 000 m ³ 岸壁(-4.5m)660m 物揚場(-3.5m)144m) 工業用地 2 300 000m ²	
	松 山 港	松山市	34.1	運輸省 愛媛県	44	外港(防波堤 435.2m 岸壁(-10m)370m 岸壁(-6.5m)岸 壁(-4.5m)293m 泊地浚渫 220 000m ³) 吉田浜(防波堤 150 m) 高浜(物揚場(-3.5m)70m 防波堤 134m) 和気(防波堤 420m 物揚場(-2.0m)60m) 工業用地 140 000m ²	
	高 知 港	高知市	67.9	運輸省 高知県	44	桂浜防波堤 158m 種崎防波堤 300m 航路浚渫(-7.5~-11.0 m)5 000 000m ³ 岸壁(-9m)165m 岸壁(-4.5m)160m 物 揚場(-4.0m)385m 岸壁(-4.5m)120m 工業用地 570 000m ²	
	干 拓	中 海 干 拓	境港市	132.0	農林省 鳥取県・島根県	47	干拓面積 28 170 000m ² 干拓堤防 26 900m ポンプ場 21カ所 中海水道水門 414.5m 水門幅 20m×16 連開門3基)
児 島 湾 干 拓		児島市	42.3	農林省 岡山県	38	干拓面積 16 451 900m ² 干拓堤防 7 700m 締切堤 1 558m(水門を 含む) ポンプ場9カ所水門岡山側12m×7.5m×6連 弁天側12m ×7.5m×6連 開門8	

工事区分	工 事 件 名	位 置	工 費 (億円)	事 業 主 体	完 成 年 度(昭)	工 事 内 容	備 考
海岸	皆生海岸保全整備	鳥取県	19.8	中国地方建設局		海岸堤防 護岸 L=7.9 km	
	岡山	岡山県	10.0	〃		海岸堤防 護岸 L=0.8 km	
河川	吉井川改修	岡山県	25.2	中国地方建設局		向洲水門 3.9m×4.0m×2 連	新5カ年の事業費
	旭川	〃	50.0	〃		河口水門 2.0m×6 連	〃
	芦田川	広島県	2.3	〃	40	新市床固 L=155.2 m	〃
	太田川	〃	68.0	〃		放水路 (43.3 完成)可動せき L=261.7 m 分水せき L=138.89 m	〃
	郷川	〃	29.8	〃		掘削 988 300m ³ 築堤 38 100m 土量 1 111 000m ³ 護岸 12 900m 橋梁 13	〃
	佐波川	山口県	8.0	〃	43	掘削 170 500m ³ 築堤 4 200m 土量 132 000m ³ 護岸 9 600m 橋梁 3	〃
	斐伊川	島根県	11.3	〃		久木統合樋門	〃
	日野川	鳥取県	6.9	〃		掘削 367 000m ³ 築堤 5 600m 土量 364 000m ³ 護岸 4 700m	〃
	天神川	〃	11.4	〃		掘削 169 900m ³ 築堤 6 000m 水制 6 土量 254 000m ³ 護岸 13 000m 橋梁 2	〃
	千代川	〃	22.8	〃		湖山水門 10.25m×10.9m×2 連	〃
	那賀川	徳島県	12.8	四国地方建設局		河床変動 内水排除計画	〃
	吉野川	〃	47.0	〃		内水排除工事 (ポンプ 1 600m/m ² 2 基) ろう水防止計画	〃
	重信川	愛媛県	12.0	〃		石手川改修計画	〃
	肱川	〃	10.3	〃		高潮・砂防計画	〃
	渡川	高知県	22.7	〃		甲ヶ峰掘削中筋川新川開削 3 000m	〃
	仁淀川	〃	16.9	〃		波介川改修計画	〃
物部川	〃	8.6	〃		須川樋門 6 門中 2 門施工	〃	
工業用水	水島工業用水道 (二期)	高梁川水系水島地区	68.5	岡山県	44	給水能力 661 000 m ³ /日	新産業都市指定地区
	福山市臨海工業用水道	芦田川水系福山臨海地区	13.6	広島県	40	〃 120 000 〃	工業整備特別地区指定地区
	太田川東部工業用水道	太田川水系広島湾臨海地区	45.3	〃	43	〃 230 000 〃	〃
	錦川工業用水道	錦川水系周南地区	74.3	山口県	40	〃 416 000 〃	工業整備特別地区指定地区
	佐波川工業用水道	佐波川水系防府地区	18.3	〃	41	〃 216 000 〃	39 年度着工予定
	新居浜市工業用水道	国領川水系新居浜市地区	8.5	新居浜市	40	〃 52 000 〃	新産業都市指定地区
阿南工業用水道	那賀川水系徳島地区	6.9	徳島県	46	〃 80 000 〃	〃	
夕ムおよび水力発電	菅沢ダム (日野川第1発電所)	日野川水系 印貫川	33.5	建設省 鳥取県	42	1) 72 2) 194 3) 重力式 4) 4 300 5) 工水かんがい治水発電	工事内容の欄中 1): ダム高 (m) 2): 堤体積 (10 ³ m ³) 3): 形式特徴 4): 最大出力 (kW) 5): 使用目的
	面河ダム (道前道後発電所)	仁淀川水系 面河川	39.2	農林省 愛媛県	38	1) 73.5 2) 190.1 3) 重力式 4) 第1 3 500 第2 11 000 第3 10 600 5) かんがい工水発電	
	浜田川ダム	浜田川水系 浜田川	11.2	島根県	38	1) 59.7 2) 106.3 重力式 4) 2 000 5) 治水発電	
	河本ダム	高梁川水系 西川	38.5	岡山県	38	1) 58 2) 215.9 3) 中空重力式 4) 10 900 5) 治水工水発電	
	黒木ダム (加茂第1発電所)	吉井川水系 加茂川	27.8	〃	42	1) 53 2) 1 218 3) 重力式 4) 14 000 5) 治水かんがい発電	
	小瀬川ダム	小瀬川水系 小瀬川	18.2	広島県 山口県	39	1) 49 2) 98.0 3) 重力式 4) — — 5) 治水工業用水	建設省施工
	椋梨ダム (新椋梨川発電所)	沼田川水系 椋梨川	15.6 (25.5)	広島県 中国電力	42	1) 40 2) 62.7 3) 重力式 4) 30 400 5) 治水工水発電	
	菅野ダム	錦川水系 錦川	108.3	山口県	40	1) 87 2) 460 3) 重力式 4) 菅野 14 500 水越 1 300 徳山 6 500 5) 治水工水発電	
	二又発電所	奈半利川水系奈半利川	71.5	電源開発	37	1) 28 2) 27.5 3) 重力式 4) 72 100 5) 発電	
	魚梁瀬ダム	〃	122.8	〃	40	1) 112 2) 2 500 3) ロックフィル 4) 32 500 5) 発電	
	府中発電所	芦田川水系 宇津戸川	19.5	中国電力	38	1) 22.8 2) 14 3) 重力式地下式発電所 4) 12 300 5) 発電	
	新成羽川ダム	高梁川水系 成羽川	I 期 115.0 II 期 30.8	〃	I 期 43 II 期 44	1) 104 2) 261.8 3) アーチ式揚水式 4) I 期 143 100 (田原 23 500 黒鳥 2 200) II 期 150 000 5) 工水発電	
新平山発電所	吉野川水系 穴内川	21.8	〃	38	1) 14.4 2) 8.2 3) 重力式 4) 41 500 5) 発電		
穴内川ダム	〃	63.6	四国電力	39	1) 65.6 2) 221.4 3) 中空重力式揚水スキージャンプ 4) 12 500 5) 発電		
小見野々ダム (陸平発電所)	那賀川水系 那賀川	54.0	〃	42	1) 65 2) 53.0 3) アーチ式 4) 42 000 5) 発電		

工事区分	工事件名	位置	工費(億円)	事業主体	完成年度(昭)	工事内容	備考
火力発電所	水島火力発電所	岡山県倉敷市水島	I期94.6 II期62.9 157.5	中国電力	38	I期 125 000 kW } 計 281 000 kW II期 156 000 kW }	
	岩国火力発電所(Ⅰ期)	山口県岩国市藤生	103.2	〃	41	220 000 kW	
	下松火力発電所(Ⅰ期)	山口県下松市平田	84.5	〃	39	156 000 kW	
	下関火力発電所(Ⅰ期)	山口県下関市	92	〃	41	156 000 kW	
	新徳島火力発電所(Ⅰ期)	徳島県阿南市橋	65.3	〃	38	125 000 kW	
	新西条火力発電所(Ⅰ期)	愛媛県西条市喜多川	86.8	〃	40	156 000 kW	

昭和 39 年 4 月以降の 1 ページ当り広告料金

表紙 2	表紙 3	表紙 4	後付	色紙	綴込(持込み)
44 000	40 000	48 000	36 000	44 000	50 000

書 評

基礎とずい道の掘削

飯 吉 精 一 著

KK技報堂刊

まず表題について、著者は「基礎の掘削とずい道の掘削」とすべきであったが、因数分解して「基礎とずい道の掘削」とした由(序)なるも、それであるなら「基礎とずい道との掘削」とすべきではなかったか。暴言多謝。

基礎とずい道との掘削作業は、人間と地殻との争闘であり、この著書は著者のこの分野に対する苦闘の記録である。著者はその執筆の態度について、序およびあとがきで、自らあまりにもよく語っている。たとえば一巻のうちに2つの異質的の掘削を取り扱った点については、『日本を離れて外国を見たことによって、日本をよりよく理解できるといわれるように、一方の掘削を知ることによって、他方の掘削をよりよく知ることができると考えられるので、2つの異なる掘削を同時に取り扱うことは有意義である』と述べ、『シールド工法のような特殊な掘削工法は、基礎とずい道との2つの掘削工法の接近化を意味する』と述べている。また『学説とか学論とかは、科学的体系のその時における断面を表わすに過ぎない。今日のテルツァギーの学説が、昨日の学説となってしまうことも考えられる。しかしその底を流れるテルツァギーの科学的精神は不滅であり、貴重なものである』と語り、著者は施工技術の面において、その原理的なものの追求を試み、過去の施工法から脱し、新しい施工学なるものの樹立を企図している。したがってこの著書は、教科書のよりもむしろ論文的であり、哲学的な論調が散見される。著者は数多い古今、東西の資料を縦横に駆使して、独自の理論を展開している。この点いささか難渋である。しかしこれに使用された、355の表と551の図とは、著者の理論とは無関係に、読者がそれぞれの目的に

応じて活用できるものである。これら貴重な資料が豊富なのが、この著書の一つの魅力であるといえよう。

本文の書き出しを見ると、『基礎工の掘削、沈下作業についての研究にあたり、すぐ問題となるのは土質である。土質の種類によって掘削、沈下の工法、手段が異なるのである。したがって適切な手段、工法を考究するにはその前提となる土質についての分類が必要である』と取りあげた問題にジカに体当たりして、著者なりの見解を述べている。このようなのが全巻を通じて著者の態度である。特に基礎の部での地盤を材料と考えて、基礎工を取り扱う著者の態度には、幾多の問題はあるとは考えるが、その勇敢な態度には敬意を表する。またずい道の部で、支保工の形式による著者のずい道掘削方式についての取り扱い方は、従来なかったもので新しい時代の扱い方であると思う。また各所に見られるつぎのような表現方法は、この種の専門書には見られぬ独特のもので、親しみを感じさせる。『相手を研究することは相撲の場合だけではない。特にずい道の掘削においては、その対象である岩盤を十分調査する必要がある。』

さて著者は巻末において『この著書で取り扱った問題は、個人の方で完成できるものではなく、同好の士による協力を望みます』と結んでいるが、私も著者の念願するような土木施工学の完成の日が一日も早からんことを希望するものである。

著者：正具 工博 鉄道建設興業KK常務取締役
 体裁：B5判 590 ページ 定価 2500 円 1963.11.25刊
 技報堂：東京都港区赤坂溜池5 振替 東京 10 番
 電 481-8581

【東京大学講師 高坂紫明・記】